

山梨放送開局70周年記念

ドキュメント

記録映像で甦る夏

2025. **2.15** 土曜日
— **3.23** 日曜日

1988～2010

ART CAMP HAKUSHU アートキャンプ

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日(振替休日の場合はその翌日)、3月3日(月)～10日(月)は館内整備のため休館

観覧料／一般1,000(840)円、大学生500(420)円

※()内は20名以上の団体料金、前売券、県内宿泊者割引料金 ※高校生以下の児童・生徒は無料(高校生は生徒手帳等持参)

※県内65歳以上の方は無料(健康保険証等持参) ※障がい者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料

※前売券は山梨県立美術館で2月14日(金)まで販売

主催／山梨県立美術館、山梨日日新聞社・山梨放送

後援／NHK甲府放送局、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局、
読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、共同通信社甲府支局、時事通信社甲府支局、山梨新報社、
日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府、北杜市

特別協力／Madada 協力／山梨交通



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art



〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

<https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>



Photo:Eiji Kitada



山梨放送開局70周年記念

ドキュメント「アートキャンプ 白州」



白州

— 記録映像で甦る夏1988～2010 —

1988年、「野外芸術祭」が未だ日本になかった時代、山梨県の白州町に音楽、演劇、舞踊、美術、建築、農業など、あらゆる表現に関わる人々が国内外から集い、稀有なお祭り「白州・夏・フェスティバル」が行われました。その後、生活と創造過程に重きをおいた「アートキャンプ白州」、「ダンス白州」とタイトルを変えながら、2010年まで続けました。その中心を担っていた田中泯は、農村地から都市を逆照射するかのようには芸術の真髄を模索し発信しました。

本展ではその歴史を物語る記録映像や資料を展示し、「アートキャンプ白州」を山梨県で改めて紹介する機会とします。



1段目左から 東京沖縄県人会青年部「エイサー」/「土の家」(建築ワークショップ「アースワークス」より) 1994年 / TUVA アンサンブル「南シベリアのホーメイ」(風と大地の歌) 1994年 2段目左から 剣持和夫(無題)のある風景 / 原口典之(Bussei No.11 HAKUSHU 1988)のある風景 / 榎倉康二(干渉)のある風景 3段目「動物パレード」 4段目左から 「パンパン号」/「竹のドーム」(建築ワークショップ「天空の息 竹の家」より) 1993年 / ミルフォード・グレイブス、田中泯「舞踏と打楽器の共演」1988年 画像提供: Madada

ART CAMP HAKUSHU



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-4-27

Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324

Yamanashi Prefectural Museum of Art <https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>



【アクセス】JR中央本線甲府駅より ◎JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勤使、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由 韮崎駅、30系統 貫川団地各往きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。※当館ホームページからもバスの時刻表をご覧いただけます。◎タクシーで約15分。中央自動車道甲府昭和インターチェンジより ◎料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を直進、約1km先左側。

